

2024年10月1日

令和6年度 第1回コロラド安全対策連絡協議会 議事録

1 概要

開催日時	2024年9月27日（金）14:00～15:45	
開催場所	在デンバー日本国総領事館会議室	
出席団体	コロラド州沖縄県人会	コロラド日本語学校補習校
	在デンバー日本国総領事館	デンバー日本語補習学校
	ロッキーズ日本語アカデミー	ロッキーマウンテン日系企業会
	Japanese Career Women	M.E.M トラベル

2 議事

(1) 開会挨拶

在デンバー日本国総領事館総領事より開会の挨拶。

(2) 出席団体紹介

今回より新たに Japanese Career Women を協議会構成団体に迎えたことが紹介された。

(3) 最近の治安情勢（別添1 最近の治安情勢）

- ア 治安情勢に関する情報共有として、最近のコロラド州の犯罪件数について、2023年は2022年より約8%犯罪件数が減少したことが報告された。
- イ 具体的な犯罪種類、件数等については FBI 統計資料発表後、次回2025年3月実施予定の協議会にて分析、報告予定。
- ウ 銃撃事件に関し、今後の Thanksgiving Day 及びクリスマス等に向けて、銃撃事件は人出の多い場所で発生する傾向が高い旨の注意喚起が行われた。
- エ 具体的な犯罪事例と対策として、米国内で発生している特殊詐欺の具体的な手法及び対策（被害に遭わないためのポイント）について説明が行われた。

(4) 海外に住む日本人の孤独と孤立について（メンタルヘルスの現場から）（別添2 海外に住む日本人の孤独と孤立について）

- ア スズキ・セラピー代表 鈴木 雅子氏によるプレゼンテーションが行われた。
- イ 令和6年6月に外務省より公表された「海外における邦人の孤独・孤立に関する実態調査（令和5年）」の結果について、項目別に傾向やポイントの説明が行われた。

- ウ 孤独・孤立との相関関係上、・居住年数・収入ある仕事・経済力・健康・コミュニティへの帰属感・アクティビティへの参加・言語力が重要。
- エ メンタルヘルスケア（こころの健康）について、こころの病気の種類と主な症状及び自殺や IT 文化と孤独・孤立に関する説明が行われた。
- オ メンタルヘルスの改善法として・（生活等に）リズムをつける・自然と触れ合う・人とのつながりを重視・自分へ感謝の気持ち・自分を肯定し、ほめちぎる・考えや感情を表に出す・緊張と弛緩のバランスが有効である。
- カ ケーススタディとして出席者がグループに分かれ、グループ毎に具体的な想定事例から問題点や改善案を考察し、相互に発表した。

（５）質疑応答・意見等

- ア 今後の協議会において銃乱射事件に関することや、それらへの対策（Run・Hide・Fight）等を紹介してはどうか。

（回答：総領事館）過去の協議会で取り上げたことがある。２０２３年の正式な犯罪データが本年１１月頃に FBI から公表される予定。その内容を踏まえ、２０２５年３月に予定している第２回コロラド安全対策連絡協議会にて犯罪件数や傾向等を詳しく分析して説明したい。また、資料として配布した「ゴルゴ１３の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」には防犯に関する内容もあるので参考にさせていただきたい。なお、議題は協議会の都度、時期や状況等を考慮して構成しているので、取り上げたい情報等あれば意見をいただけるとありがたい。

- イ （孤独・孤立に関して、）日本では不登校生徒への対応が以前から課題となっており、特にコロナ後はその人数が増え、学校では対応に苦慮している。米国における不登校の問題はどうか。また、学校にも自宅にも居場所のない子供はどのようにしているのか。

（回答：鈴木氏）米国では子供の欠席は親に責任が問われる。コロラド州では年に１０日以上欠席すると学校からレターが届くこともある。また、居場所のない子供については Big Brothers/Big Sisters という団体（非行に走りそうな子、親のネグレクトを受けている子などと会い精神的なサポートをするボランティア団体）や麻薬に走らないようなサポート団体がある。また、非行青少年を対象にした Challenge 学校（矯正学校）もあり、青少年に向けた様々なサポートや取り組みがされている。

- ウ （孤独・孤立に関して、）メンタルヘルスの改善について、事前予防ではなく既に

病を患っている人への救済はどうすればよいか。本人の意思がなければカウンセリングは受けられないのか。

(回答：鈴木氏) カウンセリングは本人の同意がないと受けられないのは事実である。ただし、カウンセリングが受けられる年齢については15歳から12歳に引き下げられており、本人の意思があれば親の同意がなくても受けることが可能となった。この背景は子供の自我が芽生える年齢に沿ったことがある。昨今は特に Transgender など自身の性アイデンティティーに悩む子供も増えており、親に反対されてもカウンセリングを受ける者もいる。また、犯罪に手を染めるような案件であれば年齢に関係なく強制的にカウンセリングを受けさせることもある。大切なことは子供を押さえつけない、子供の話を聞くことで信頼関係を構築していくことである。

また、子供の自殺率についてはここ数年増加傾向にある。比較的安全な地域、裕福層が住む郊外に住む子供のほうが自殺率が高い傾向にある。このような郊外に住む者は人と関わることが少なくなっていると思われる。またSNSの影響で作られた自分のイメージに縛られプレッシャーを感じている子も少なくない。自傷行為をする子もいるが、自傷行為＝自殺とは限らず、心に抱えた傷や問題よりも自傷行為のほうがまだ耐えられるということで行為に及ぶ子も多い。

エ 本日の協議会で得た情報を当団体（出席団体）のメールマガジンに掲載してもよいのか。

(回答：総領事館) 問題ない。ぜひ各団体内で情報を広く共有願いたい。なお、鈴木氏のプレゼンテーション内容についても許可を得ていることから、協議会内で使用した資料のデータは出席団体宛てに後日共有させていただく。

オ (本協議会の開催結果の広報手段について、) 出席団体だけでなく広く在留邦人等に情報共有することを目的として、議事録を作成し、その他資料とともに出席団体の確認を受けたものを在デンバー日本国総領事館のホームページに掲載することとしたい。

(出席団体より承諾を受ける)

(6) その他（総領事館からの連絡事項）

ア パスポート作成について、2025年3月24日からパスポートの偽変造防止を強化するため、顔写真のページがプラスチック素材の「2025年旅券」が発給される。それに伴い、現在は申請から交付まで約7日で行っていたが、来年の3月24

日以降は、パスポートは日本国内で作成され、在デンバー総領事館まで配送されることとなるため、最短でも2週間以上の日数を要することとなる。詳しくは資料を参照願いたい。(別添3 「2025年旅券」の集中作成に関するお知らせ) イ 在外選挙人名簿への登録について、随時受付を行っている。また、総領事館員が日本関連団体等に訪問し、受付することも可能である。(別添4 在外選挙の制度と手続きについて) ウ 孤独・孤立対策について、鈴木氏からも説明があったが、外務省ではNPO 法人等と連携し、海外に住む日本人向けの相談窓口を用意している。参考までに資料を配付した。(別添5 孤独・孤立対策周知用チラシ) (6) 閉会挨拶 在デンバー日本国総領事館首席領事より開会の挨拶。	
添付資料	別添1：最近の治安情勢 別添2：海外に住む日本人の孤独と孤立について 別添3：「2025年旅券」の集中作成に関するお知らせ 別添4：在外選挙の制度と手続きについて 別添5：孤独・孤立対策周知用チラシ

3 次回開催予定

2025年3月予定 開催日時については2025年1月に協議会構成団体へ日程確認・調整を行い、別途決定することとする。
--